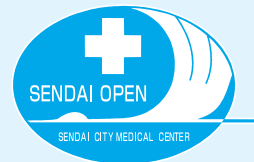


れんけい renkei



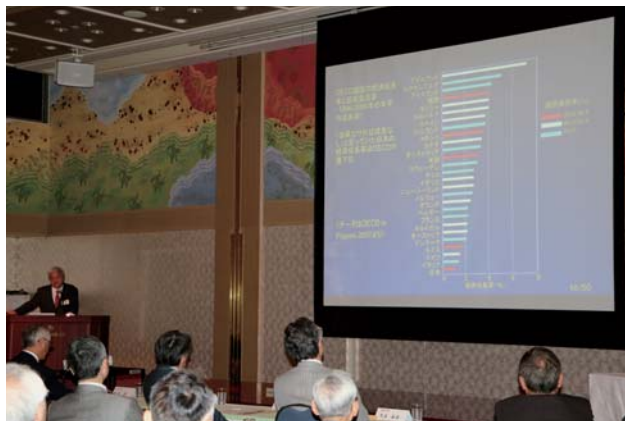
公益財団法人仙台市医療センター仙台オープン病院 地域医療連携室
〒983-0824 仙台市宮城野区鶴ヶ谷 5 丁目 22-1
TEL:022-252-1111(代表) FAX:022-252-1126(連携室直通)
URL:http://www.openhp.or.jp e-mail:renkei@openhp.or.jp

vol. 62

【仙台オープン病院 理念】

思いやりのある心で信頼される優れた医療を提供します。

仙台オープン病院 登録医会秋季勉強会



市場原理と医療 米国から学ぶべき教訓 平成28年10月14日(金) 勝山館

一般財団法人 大原記念財団 大原総合病院
内科部長 李 啓充

日本の医療制度の特質をひと言でまとめると、「非常に安いお金で、世界一の成果を上げてきた効率の良さ」となるだろう。たとえば、国全体の医療の成果を「長生きの度合い」で見たとき、日本の高齢化率（総人口の中で 65 歳以上の人々が占める割合）23.02%は OECD 加盟 34 ヶ国中第一位であり、日本は、世界のどこよりも長生きができる国となっている。

一方、高齢者は若年者と比べるとどうしても有病率が高く、OECD 加盟国の平均で見たとき、高齢化率の高さと医療費支出（対 GDP 比）の多さとの間には正の相関が成立する。しかし、日本は例外で、高齢化率がトップであるにもかかわらず、医療費は対 GDP 比 9.5 %（OECD 加盟国中 10 位）と極めて低く抑えられている。

高齢化率と医療費支出が正比例するという法則のもう一つの例外が、医療を市場原理に委ねてきた米国である。高齢化率は 13.09%（OECD 第 28 位）と 1990 年代初めの日本のレベルにとどまっているにもかかわらず、医療費支出は対 GDP 比 16.4%とダントツの第 1 位であり、極めて効率の悪い医療を展開しているのである（数字はいずれも OECD 調べ、2010 年）。

「効率の悪さ」に加えて、医療を市場原理に委ねたときの弊害の第二は「アクセスの障害」である。日本で医療へのアクセスが憲法で定められた「生存権」の下で保障されているのとは対照的に、米国では、医療へのアクセスは「権利」ではなく、「特権（お金を払った人だけが受けられるサービス）」となり、「病気になってもお金がないので医療を受けられない」という悲惨な事例が後を絶たないのである。

近年、日本でも、「米国式に、医療に市場原理を導入し、『公』（保険診療）の部分減らして『民』（保険外診療）を増やせ」とする主張が声高に叫ばれているが、効率の悪化を招いて医療費支出がさらに増大するだけでなく、国民が医療にアクセスする権利が損なわれる危険があることは強調されなければならない。



■ 仙台PTCAネットワーク・ライブデモンストレーション2016を終えて

秋晴れが広がった9月16日、17日に仙台PTCAネットワーク・ライブデモンストレーション2016が行われました。2001年に第一回を開催しましたので、途中休みはありましたが、満15年を経過しました。これまで継続できたのも、皆様のご協力の賜物と心より感謝いたしております。16日は恒例のビデオライブを5施設からの映像で行い、皆のディスカッションを通して理解を深めました。特別講演は山口大学の岡村誉之先生から3次元光干渉断層法の驚きの画像を示していただきました。

翌17日は当院カテ室と医学部を新設した東北医科薬科大学病院カテ室から、今回初めてのホテルメルパルクの会場に冠インターベンション（PCI）の治療の中継を行い、日本中から集まってくれた専門医たちと討論しながら、手技を進めていきました。当院からは昨年に続いて大崎市民病院の岩淵薫先生、豊橋ハートセンターの土金悦夫先生と、新たに東京六本木にある心臓血管研究所病院の及川裕二先生に慢性完全閉塞の症例を治療していただきました。放映時間はこれで終わったのですが、その後加



藤が予定されていた高度石灰化病変の患者さんを治療し、終了したのは夜8時を回っていました。東北医科薬科大学病院では9例を行い終了したのは9時を過ぎていました。治療中は色々トラブルもありま

仙台PTCAネットワーク代表世話人
仙台オープン病院 循環器内科主任部長 加藤 敦



したが、無事切り抜け、全例が合併症もなく終了しています。簡単に終了するのとは違い、大変今後の勉強になりました。また、コメディカルセッションは非常に盛況で、例年に増して議論が活発でした。反省するのは、学会認定のコメディカルの資格が各種あり、当ライブが申請すればその更新単位を与えられるのですが、指摘されるまで気づかず、コメディカルの方々には申し訳なかったと思います。次回からは発行できる単位はあまねく発行しようと思っています。



当ライブは東北の冠インターベンションの進歩に少しでも役に立ち、ひいては患者さんの治療に還元できるようにと始めたライブですが、PCIの世界で大きな柱に育っていると思います。それには休日にもかかわらず働いてくれた

病院スタッフの協力がかせませんでしたし、協賛いただいた企業各社、また、ライブで行うことをご了解いただいた患者様、ライブ中継を陰で支えてくれた皆様、御後援をいただいた仙台市医師会および宮城県医師会に厚く御礼申し上げます。現在の医療技術の進歩は目を見張るものがあり、今後とも精進し、さらにチームワークを磨いて地域医療に貢献していきたいと考えております。ありがとうございました。

第29回病院親善野球大会開催



平成28年9月3日(土)に第29回病院親善野球大会がベルサンピアみやぎ泉で行われました。仙台オープン病院を含め5病院が参加し、白熱した試合が行われました。仙台医療センター、東北医科薬科大学病院、仙台市立病院と対戦し、結果は1勝2敗の成績でした。以前は優勝していた時代もあったのですが、最近では1勝することも難しい状況で、今年もなかなか人数が揃わず、研修医の先生たちの活躍と盛大な応援もあり、何年ぶりかで勝ち取った1勝でした。晴天の下、各病院との親睦を図ることができ、非常に印象深い大会となりました。

試合終了後は江陽グランドホテルにて恒例の懇親会が行われ、表彰式、カラオケ大会などで盛り上がりを見せました。来年は第30回という節目の大会になるかと思しますので、ぜひ優勝目指して頑張りたいと思っています。

最後になりましたが、お忙しい中球場まで足を運んでいただいた病院関係者の皆さま、温かい声援本当にありがとうございました。

(文責：呼吸器内科 洞口 亮)



院 内 の 動 き

第5回オープンまつり開催！

平成28年10月15日(土)に「第5回オープンまつり」を開催し、今年も天候に恵まれ、改築工事中ですが約1,000人ものの方々にお越しいただきました。「つなげよう防災の輪・広げよう元気と健康！」をテーマに、防災・健康関連の様々な催しを行いました。

防災関連では、仙台市消防局ヘリコプター離発着訓練見学、煙体験ハウス、ブリヂストン免震体験車、救急蘇生体験等を行いました。ブリヂストン免震体験車では、阪神淡路大震災等の直下型地震を免震と耐震で体験ができ、その揺れの違いに参加者はとても驚いていました。

健康関連では健康講座、感染予防コーナー、臨床工学技士体験、骨密度測定、エコー体験、調剤体験、3次元CTデモ等を行いました。健康講座は加藤循環器内科主任部長より「ここまで来た心臓病治療の話～日々を元気に～」と題してご講演いただき、席が足りなくなるほどの盛況ぶりでした。

その他には、院内バックヤードツアー、アロマハンドマッサージ、看護師体験コーナー、キッズコーナー等を行いました。どのコーナーも普段見ることができない器械や体験を通じて、健康の大切さや災害に対する心構えを再認識していただきました。来場者アンケートでは、「毎年、楽しみにしています。継続してほしいです。新棟開院を楽しみにしています。」等のご意見をいただきました。

そして、毎年好評の「ブラック・ジャックセミナー」(外科手術体験セミナー)も開催し、当院周辺の小中学校の子供達を対象に、外科手術を模擬体験していただきました。セミナーでは、超音波メス体験、手術縫合体験、内視鏡トレーニング体験、手術室の見学等を行いました。子供達からは、「普段、体験できないような貴重な体験ができました。」等の感想がたくさん寄せられ、とても楽しみながら手術体験ができた様子でした。

最後に、オープンまつり開催にご協力いただきました協賛企業・関係諸団体の皆様をはじめ、企画段階からご尽力いただきました実行委員、ボランティアスタッフの皆様にご心より感謝を申し上げます。(文責：法人事務局 畑中 幸子)



仙台オープン病院外来診療スケジュール

先生方からご紹介いただく患者さんは毎日受付しております。救急センターは24時間受け入れしております。

平成28年12月1日より

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-----------------|--|---|----------------------------|--|--|
| 消化器内科 | 野田 裕 (第1、3) 楠瀬 寛 顕 (第2、4、5) 伊藤 啓 小池 良 樹 (12/12~) | 原田 喜博 菅野 良秀 | 嶋田 奉 広 (12/7~) 枘 かおり | 大平 哲也 越田 真介 | 小川 貴央 山形 拓 |
| 循環器内科 | 加藤 敦 瀧井 暢 (新患担当) | 浪打 成人 杉江 正 (新患担当) 牛込 亮一 (午後1時~) | 加藤 敦 (新患担当) | 加藤 敦 浪打 成人 (新患担当) 杉江 正 (午後1時30分~) 瀧井 暢 (午後2時~) | 牛込 亮一 (第1) 瀧井 暢 (第2) 杉江 正 (第3) 浪打 成人 (第4) 加藤 敦 (第5) (新患担当) |
| 呼吸器内科 | 飯島 秀 弥 | 進藤 百合子 | 飯島 秀 弥 | 担当医 (事前予約のみ) | 進藤 百合子 |
| 消化器外科 一般外科 | 本多 博 大石 英和 | 岡田 恭 穂 | 土屋 誉 小山 淳 | 柿田 徹也 矢澤 貴 (第1、3、5) | 及川 昌也 |
| 心臓血管外科 呼吸器外科 | 吉田 聖二郎 (午後1時~3時30分) | 担当医 | 茂泉 善 政 | 吉田 聖二郎 (午前9時~12時) 新田 能郎 (午後1時~3時30分) | 担当医 |
| 総合診療科 | 担当医 | 担当医 | 担当医 | 担当医 | 担当医 |
| 乳腺外来 | 本多 博 (午後1時30分~3時) | | | | 本多 博 (第1、3、5)(午前) (第2、4)(午後1時~3時) |
| 化学療法科 | | 東北大学病院 高橋雅信/高橋信 (第1、3、5) / (第2、4) | | 東北大学病院 小峰啓吾/西條憲 (第1、3、5) / (第2、4) | |
| ストーマ外来 (予約制) | | | 担当チーム (午後1時~) | | |

受付時間：午前8時30分~午前11時

● 検査・入院などのご予約について……………総合サポートセンター

※診察・検査につきましては事前に予約されている場合でも、当日の外来状況により待ち時間が発生することがございます。何卒、ご理解、ご了承願います。

● 緊急な患者さんをご依頼の場合……………救急センター

TEL 022-252-0100 FAX 022-252-0264 (救急受付直通)

URL <http://www.openhp.or.jp> E-mail renkei@openhp.or.jp

●編集委員 進藤 百合子、石井 洋寿、水間 吉則、野口 雅子、鈴木 由季子、大原 麻子